

# 記 後 集 編

◇『学海』第十七号をお届けする。

◇本号では、京極、塩入、大橋、西山の各先生方から玉稿を賜った。また、韓国の李仁淳氏からも(大橋先生と共著で)ご寄稿いただいた。学生の卒業研究佳作論文は二編収録。表現コースの短歌ならびに書道作品の優秀作も掲載した。光彩を放つ充実した内容となった。

◇長年にわたって、上田女子短期大学および本学会のためにお力を尽くされてきた学長京極興一先生、周東清芳先生が本年度末をもって退職されることになった。両先生に深く感謝を申し上げるとともに、ご健勝を心より祈念するものである。そして、今後とも本学会へのご支援をお願いしたい。

◇本誌が届く頃、卒業生は社会人としてどのような生活を始めているだろうか。いくつかの試練もあることだろう。どうかそのような時には、卒業研究に注いだ情熱を思い出したり、これまでさまざまな問題を乗り越えてきた自分の力を信じてほしい。何よりも健康に留意されたい。在学生も、夢中になつて取り組むことができる何かをぜひ見つけてほしい。

◇これまで本誌の編集を担当されてきた西山先生から実務を引き継いだ。先生のご功労に感謝申し上げます。また、会員各位のいっそうのご助力およびご指導を切望しお願い申し上げます。

(長田記)

## 学 海 第十七号

平成十三年三月三十一日発行

〒三八六一二二四

上田市下之郷乙六二〇

発行者 上田女子短期大学

国語国文学会

会長 太刀川 清

☎〇二六八(三八)二三五二

印刷所 佐久市中込一八一二

株式会社 櫟(へい)ちい  
☎〇二六七(六三)〇〇一八

題字・塚田 清策